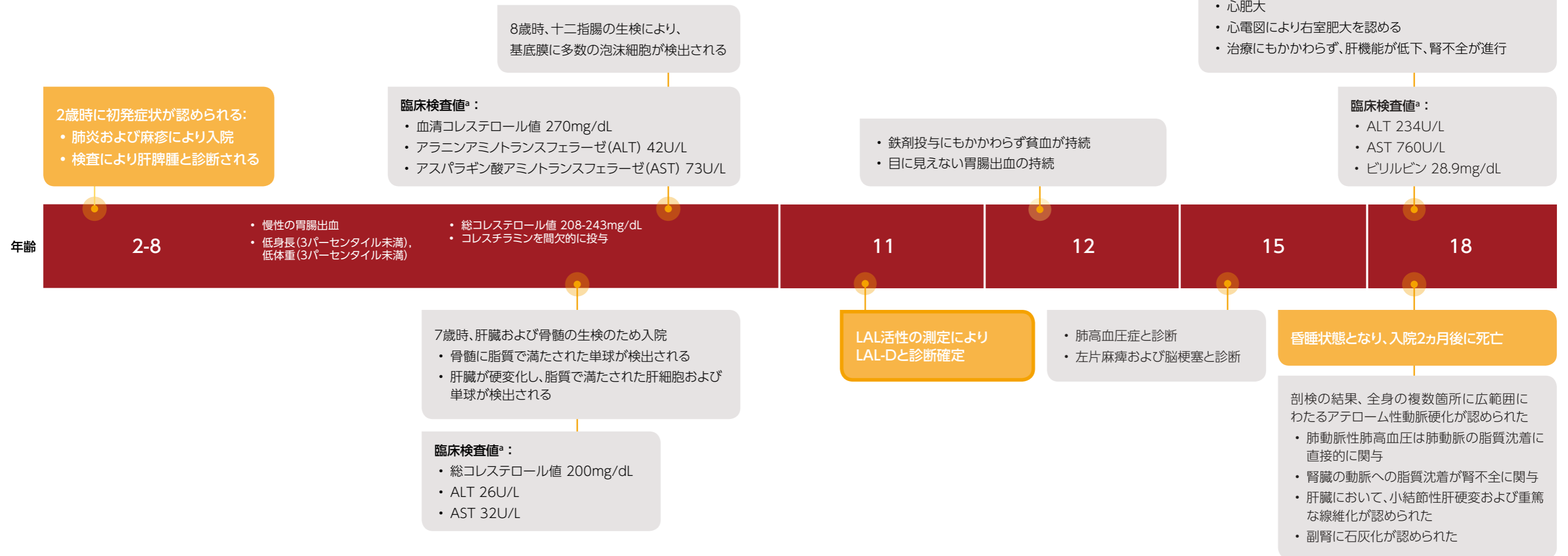


LAL-Dでは多臓器障害により、 幼少期から成長障害や肝硬変があらわれる可能性があります。¹

<症例>

18歳で死亡した女性(海外データ)
(原因不明の肝不全により7歳および9歳で死亡した女性同胞の家族歴を有する)¹



●LAL-Dでは若年齢から多臓器障害による重篤な臨床症状があらわれる可能性があります。¹

- この症例ではコレステロールエステルやトリグリセリドが腸および肝臓に蓄積し続け、幼少期に成長障害や肝硬変を発症しています。^{1,2}

●LAL-Dでは多臓器障害が進行することで若年死のリスクがあります。¹

- この症例ではコレステロールエステルやトリグリセリドが多臓器に蓄積していくことで、肝障害、心疾患、腎不全および肺高血圧症を合併し、18歳で死亡に至っています。¹

a 参考: 正常値 総コレステロール値: <170mg/dL(小児)³, ALTおよびAST: ≤40U/L⁴, ビリルビン: <1.2mg/dL⁴